

箱根町水道事業運営協議会議事録

日 時：平成 28 年 7 月 27 日（水）13：30～14：45

場 所：箱根町役場 分庁舎 4 階 第 5 会議室

出席者：委員：安藤雅章、北野谷克美、酒寄勝男、岡部郷、中武朝子、松井弘子

町側：中村環境整備部長、勝俣上下水道温泉課長、芳澤副課長

山崎工務係長、秋山業務係長、勝又主査

| 進行区分 | 内 容 |
|------|--|
| 司会 | <p>当運営協議会の会議及び議事録の公開については、箱根町付属機関等の設置及び運営に関する要綱に基づき、原則公開としています。なお、傍聴の希望者はいませんでした。</p> <p>本日の会議については、箱根町水道事業運営協議会条例第 6 条第 2 項に、委員の過半数の出席により、会議が成立することとなっており、本日は 6 名の委員の方が出席しているので、本会議が成立していることを報告します。</p> <p>では、安藤会長からあいさつをお願いします。</p> |
| 会長 | (会長あいさつ) |
| 部長 | <p>(部長あいさつ、決算概要説明)</p> <p>職員紹介</p> |
| 会長 | (会長議事進行) |
| 会長 | <p>議題 1、平成 27 年度箱根町水道事業会計決算の状況について、町側から説明をお願いします。</p> |
| 課長 | (勝俣課長から内容説明後、質疑に入る) |
| 委員 | <p>決算書 3 ページ水道事業収益の決算額が予算額に比べ、約 2,185 万円の減になっているが、原因は大涌谷の火山活動による観光客の減が大きな原因でしょうか。</p> |
| 町 | <p>水道事業収益で大きなウェイトを占めている給水収益ですが、26 年度と比較しますと全体で 92.7 パーセントとなっており収益が 7.3 パーセントの減となっています。</p> <p>4 月、5 月は例年並みに使用量がありましたが、6 月の使用量から減っていき、8 月には前年度の 76.8 パーセントの使用量まで落ち込みました。以降、悪い状態が続いていましたが、1 月頃から徐々に盛り返してきて、3 月には例年並みの使用量に戻ってきました。そのような経過</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>の中、前年度と比べ 92.7 パーセントという数字になったものです。</p> <p>地区的に見ても、箱根町の給水エリアには火山活動の影響を強く受けた仙石原や強羅は入っていませんが、給水エリアである宮ノ下なども影響を受け、観光客などの数が減った分、給水収益にも影響があったものだと考えています。</p> |
| 委員 | <p>水道事業費の営業費用についても約 1,300 円執行していませんが、これは経営的に支障がなかったのでしょうか。</p> |
| 町 | <p>平成 27 年度の事業費については、火山活動等を鑑み多少自粛した点があります。</p> |
| 委員 | <p>決算書 6 ページの長期前受金戻入について、どのようなものなのか説明いただきたい。</p> |
| 町 | <p>箱根町では平成 26 年度から採用している新会計制度によって、導入された制度であります。</p> <p>新会計制度の説明の前に、旧会計制度では、固定資産を取得した場合に減価償却を行っていきませんが、取得する際に補助金を充てて取得した場合、例えば取得額の半額が補助金だとすると、減価償却は取得額の半額分しか減価償却しないという制度でした。</p> <p>新会計制度の導入によって、みなし償却制度が廃止になり、補助金を充てて取得した固定資産に関しても、取得額全額を減価償却することになりました。それにより補助金額を含め再計算したところ、営業費用の減価償却費が約 4,000 万円増加しましたが、実際に町が負担した金額は補助金を除いた金額なので、その差額についても執行すると赤字になってしまうので、長期前受金戻入により収入として処理してよいということになりました。</p> <p>つまり長期前受金戻入の約 4,000 万円とは、過去に補助金等により取得した固定資産の減価償却費の平成 27 年度分になります。</p> |
| 委員 | <p>決算書 10 ページの営業未収金が約 90 万円増えている件と、営業外未収金が平成 26 年度決算では 0 円であったのに、約 80 万円ある件についてご説明願いたい。</p> |
| 町 | <p>営業未集金は料金の滞納が主なものでありますが、増えた理由としては、平成 26 年度まで大口の滞納者が定期的に支払っていましたが、平成 27 年度中に倒産してしまい、定期的な収入が無くなった点が考えられることと、滞納整理業務に関しては力を入れているのですが、今回</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>の火山活動の影響により、少なからずとも料金の滞納が増えたものと考えています。</p> <p>営業外未集金につきましては、3月末までに調定をしたものが年度内中に収入が無かったものであります。工事をした時に業者から収入があったのですが、工事の完成時期が年度末になってしまったため、4月になって収入があったので未集金となっておりますが、収入され営業外未集金は無いものであります。</p> |
| 委員 | <p>決算書 14 ページに漏水箇所が 21 件とありますが、これは冬季の凍結による水道管の破裂等によるものでしょうか。それとも、平常時に自然の漏水として発生したものでしょうか。</p> |
| 町 | <p>漏水箇所 21 件に関しては、冬季の凍結が原因によるものだけではなく、1年間をとおして発生しているものであります。</p> <p>内訳としましては、給水管の漏水が 19 件、配水管の漏水が 2 件、合わせて 21 件ということになっております。</p> |
| 委員 | <p>決算書 17 ページの年度末給水人口が 620 人減となっているが、今までに比べ非常に大きな数字になっているので説明いただきたい。</p> |
| 町 | <p>年度末給水人口は国勢調査の人口を基準に集計しております。平成 27 年 10 月 1 日に国勢調査が実施され、その速報値が発表され、平成 27 年度中に人口の切り替えを総務防災課で行ったのですが、平成 22 年に行った国勢調査に比べ 1,447 人の減となりました。その内、町水エリアの人口が約 600 人減っており、その影響により年度末給水人口が 620 人減となったものであります。</p> |
| 委員 | <p>同じく決算書 17 ページで、給水個数が 39 件減っているのはどのような理由でしょうか。</p> <p>また、年間給水量が 137,604m³ 減っており、主に宮ノ下や大平台が減少しているが何によることが原因だと考えていますか。</p> |
| 町 | <p>給水個数の減少に関しては、給水人口の 620 人の減少に比べては、それほど減ってはいないのですが、給水人口の減少については、東日本大震災と箱根山火山の活発化の影響により、観光業の従業員たちの人口の流出が主なものだと、総務防災課から聞いております。ですので、人口が減っている割に給水個数が減っていないのは、そのような観光業に従事する人が町外に転出しても、寮や社宅などの水道を閉栓していないことが理由だと考えて</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>います。</p> <p>給水量の減少につきましては、全体で約 92%減っている中で、宮ノ下・大平台が大きく減少しています。</p> <p>今回の火山活動では、仙石原地域や宮城野地域が大きな影響を受けたと聞いておりますが、平成 27 年の観光客数の入込調査の結果では、宮ノ下の宿泊観光客数が仙石原地域や宮城野地域と同等の減少率がありました。ですので、宮ノ下に関しては観光客の減少が大きな理由だと考えております。</p> <p>また、大平台については、大きな保養所が火山活動の活発な期間中に休館していたので、それが原因だと考えています。</p> |
| 委員 | <p>水源の話になりますが、箱根町では災害などがあり取水できなくなった場合、どれくらいの日数給水が可能でしょうか。</p> |
| 町 | <p>町営水道では 5 箇所の指定配水地を設置しており、それら施設では、給水エリア内の住民が 3 日間給水できる量を確保しています。</p> <p>災害から 3 日後には、自衛隊や日本水道協会から要請を受けた各地から応援部隊が駆けつけ給水活動を行ってもらえることを想定して、3 日間分を確保している状況です。</p> |
| 委員 | <p>箱根町総合計画を見直していると思いますが、箱根町の人口が年々減少している状況で、総合計画での人口は 10,000 人程度になると思われますが、水道事業の人口との関係はどのようなもののでしょうか。</p> |
| 町 | <p>箱根町の水道ビジョンでは様々な指標を作成して、それに従って水道事業を展開していますが、現在の水道ビジョンは平成 19 年度から平成 29 年度のもので、平成 30 年度に水道ビジョンの見直しがあります。</p> <p>その新しい水道ビジョンで直近の人口の推移等を基に、今後の運営に努めていきたいと考えています。</p> |
| 町 | <p>平成 29 年度からの第 6 次箱根町総合計画の人口を基に水道ビジョンの人口も決められると思いますが、家庭用での使用量よりも業務用の使用量のほうが圧倒的に多いので、人口の減少が水道の経営に直結するものではないと考えています。</p> |
| 委員 | <p>私の住んでいる県営水道エリアでは、数年前から県から民間へ委託されていますが、箱根町は現在、検針業務等を一部委託していますが、これから先、委託範囲を広</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>めていくような考えはありますか。</p> |
| 町 | <p>箱根アクションプランでの調査で、平成 29 年度までに包括民間委託が可能か否かの回答をしなければならないので、それに向けて今現在、調査研究を行っています。</p> |
| 町 | <p>水道パートナーズの民間委託については、全国的に例が少ないということで、神奈川県がモニタリング調査を行い検証しているなか、定期的に水道パートナーズと箱根町で意見交換会も開催しています。そのようなことも踏まえ、箱根町は民間委託が合うのか合わないのかを決めていきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>その他、質問、意見ありますか。無いようなので、議題 1、平成 27 年度箱根町水道事業会計決算の状況につきましては、委員さんに了解得たということでよろしいでしょうか。</p> <p>(各委員、異議ないもの)</p> <p>それでは、議題 2 その他について、町側から何かありますか。特にないようなので、中村部長何かありますか。</p> |
| 部長 | <p>(中村環境整備部長あいさつ)</p> |
| 会長 | <p>それでは本日より予定していた審議が全て終了しました。会議の運営に対しての、委員全員の協力に、深く感謝を申しあげて、閉会といたします。</p> |